

年 組 名前 :

# EV世界販売 7割増

## 22年 726万台 市場の1割

ガソリン車などとEVの  
世界新車販売内訳

	2021年	22年
ガソリン車 など	7443万台 (94.5%)	6895万台 (90.5%)
EV	436万台 (5.5%)	726万台 (9.5%)

※調査会社マークライズ調べ、  
( )内は新車販売全体に占める割合

2022年の電気自動車（EV）の世界販売台数は約726万台で、21年に比べ約7割増えたことが8日、調査会社マークライズの調べで分かった。ガソリン車を含む市場全体（約7621万台）のうち、EVの占める割合は1割に迫り、存在感が急速に高まっている。

日本メーカーは先行する中国や欧州勢に比べ低調に推移しているが、EV関連への投資を加速させている。ソニーグループとホンダの協業によるEV発売の計画も控えており、劣勢だったEV市場で巻き返しを狙う。

マークライズが世界62カ国・地域で販売された新車を集計した。22年のEVを除くガソリン車などの新車販売は21年と比べ7・4%減の約6895万台だった。EVの増加は、中国が21年比約8割増の約453万台と、市場をけん引した。ドイツや英国を含む西欧も約3割増の約153万台で、米国は約80万台だった。日本は22年に発売された軽自動車のEVが好調だったが、約5万台にとどまった。

世界のEV市場では、新興メーカーや中国大手が躍進している。世界販売首位の米テスラは21年の約88万台から22年には約127万台に増え、中国メーカー「比亞迪（BYD）」は21年の約32万台から22年に約87万台まで伸ばした。

日本メーカーの22年のEV販売は、日産自動車とフランス大手ルノー、三菱自動車の企業連合による約28万台の7位が最高で、トヨタ自動車やホンダのEV販売は世界上位20社にも入らなかった。日本メーカーはガソリン車で世界販売の上位に名を連ねるものの、EVでは出遅れが目立つ。

(2023年4月9日付 山梨日日新聞5面)

問1

電気自動車の販売が年々増加しています。2021年と比較して

何台増加しましたか。また、ガソリン車は何台減少しましたか。

電気自動車 : ..... 増加

ガソリン車 : ..... 減少

問2

国・地域別で、電気自動車の販売台数が約8割増となった国名を教えてください。

.....

問3

日本における電気自動車の販売は、どのような状況ですか。

.....